

ひまわり

令和7年3月号



↑カラー版はこちらから

『心の育ち』

校長 門脇 伸也

三月は「旅立ちの時」。この「旅立ち」の「旅」と言う字の由来は、旗を掲げて多くの人々が故郷を出て行く様子を表していると言われています。

「旅」は二つの文字を組み合わせて作られた会意文字（かいいもじ）です。左側の「方」は、「旗」を表しています。残る右側の部分には、古い中国の字体では「人」を二つ並べた「从」という文字が使われていますが、これは「大勢の人々」を表したものだと言われています。

古代中国ではこの旗を掲げて歩けば、異郷の地でも祖先の霊が自分たちを守ってくれると信じられていました。それが「旅」という字の始まりです。

いかがですか、右の古い中国の「旅」という字から旗を手にした人の姿が見えますか。



さて、本校の子どもたちにとって、障がいがあることで旅もしかり、学習場面や日常生活において様々なつまずきや困難が生じます。そのため、一人一人の子どもたちの障がいによる学习上又は生活上の困難を改善・克服するために自立活動が必要になります。

自立活動の内容は、6つの区分から成り立っています。①健康の保持、②心理的な安定、③人間関係、④環境の把握、⑤身体の動き、⑥コミュニケーション です。自立活動の指導は、教育活動全体を通して行われています。⑤身体の動きとは、日時用生活や作業に必要な基本動作を習得し、生活の中で大切な体の動きができるようになることがねらいです。例えば、日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や手足の動きの改善、関節拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化を行ったり、必要な補助具を活用したり、歩行や歩行器、車いすを使った移動の練習、手の使い方などを学習します。しかし、自立活動は子どもたちの身体機能の向上や改善だけでなく、心理面を理解し安定を図ることと同時に指導していくことが肝心です。このことにより子どもたちの豊かな成長へ大きな影響を与えていきます。

例えば、児童 A は人前で話すことや表現することがとても苦手です。人前に出るとなると、身体が縮こまって、声を出そうにも、声が出てこなくなります。身体面にも緊張が見られ、足を突っ張ったりする様子もあります。そこで、教師 B は自立活動の指導の内容として、体のストレッチや股関節を緩める運動、歩行訓練をしていきました。教師 B は指導の経過の中で児童 A が出来るようになった姿を動画で撮り続けていきました。

教師 B は児童 A と機を捉えて一緒に動画を見返し、その度に賞賛の声を掛けてきました。例えばこんな具合にです。「うん、姿勢もよくなってきた。背筋もピンとしてきたし、何よりも笑顔が増えたよ。」「今朝のホームルームの司会、後ろにいる私に声はちゃんと届いていたよ。」教師 B は児童 A が達成感を感じるように自立活動を続けていきました。次第に児童 A は人前に出ても体の緊張が緩まり、歩行や立位の際も安定が見られてきました。それと同時に、様々な活動に向かう際に、感情を豊かに表現することが増え、楽しそうに学校生活を送る様子も目立つようになりました。自立活動は1つのことを狙っているように見えて、子どもの調和的な発達を進めることにつながります。教師は、児童が自分の障がい特性との葛藤していることを捉えつつ、身体面、心理面の両面を理解して、自立活動を指導していく必要があります。自立活動は特別支援教育の根底に位置し、心の育ちにも欠かせない大切なものとなります。

最後になりますが、21日は卒業式です。卒業生は中学部・高等部のステージへ向かいますが、そのような彼らはこれからも自らの障がい特性に向き合っていかなければなりません。地域及び関係機関の皆様、卒業していく子どもたちへ今後も変わらない声援をよろしく願いいたします。また、本校の教育活動へこれからも御理解と御協力をよろしく願いいたします。

「東京都肢体不自由特別支援学校ハンドサッカー大会」

2月15日(土)に東京都立花畑学園で、第31回東京都肢体不自由特別支援学校ハンドサッカー大会が行われました。今年、都立永福学園と筑波大学附属桐が丘特別支援学校と3校で合同チームを組み、新宿養護学校からも8名の生徒がA・B・Cの3チームに分かれて参加しました。

12月から練習が始まり、毎週土曜日の永福学園での合同練習や桐が丘特別支援学校での練習試合、また、保健体育の授業でも日々練習を重ねてきました。

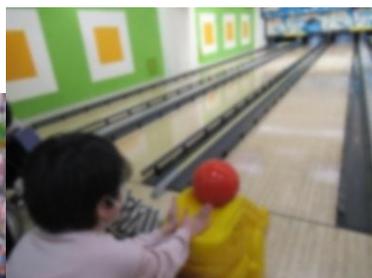
大会本番では、緊張感のある中でも子どもたちはとても堂々としており、エリアでボールを待つ姿やシュートをする姿がとても輝いていました。そして見事、Aチームが優勝という快挙を果たし、Bチーム、Cチームも予選リーグで一勝することができました。いつもと違った環境の中で、生徒一人ひとりがそれぞれの課題に向き合ったり、他校の生徒と一緒にチームで練習や試合に取り組んだりしたことは、とても貴重な経験になったと思います。



「中学部 遠足」

3月4日(火)、品川プリンスホテル内の施設を利用して、中学部の遠足を実施しました。

コンビニエンスストアでの買い物学習では、事前に決めた商品を探したり、店員さんとやり取りしたり、お金を支払ったりと、数学や生活単元学習で学んだ力をしっかりと発揮できました。「何買ったの?」と会話が広がり、友達と一緒に買い物をする楽しさも味わいました。



ボウリングセンターでは、ピンが倒れる高い音と、一喜一憂する皆の歓声が響く楽しい時間が流れ、中学部の仲間との思い出に残る一日になりました。投球台の貸し出しがあったり、車椅子でも入りやすいように備え付けの椅子を一部外してもらったりと、私たちが利用しやすいように対応してもらうこともできました。

生徒たちからは「また行きたい。」「家族で行きたい。」という感想があり、余暇活動にも繋がる経験ができたと感じています。

「令和6年度の副籍交流を振り返って」

今年度の副籍交流は、小学部では19名(直接15名、間接4名)中学部では10名(直接6名、間接4名)の方が参加しました。昨年度より若干名増えています。直接交流で行った授業内容は、朝の会やお楽しみ会、国語、算数、音楽、理科や道徳、展覧会への作品展示と見学、ボッチャなど様々であり、中には Teams を使ったオンライン交流会を実施し、「好きなアイドルの話」というテーマで意見交換を行った事例もありました。実施日を決める際には、両校の学校行事を外したり体調面を加味したりなど調整が難しい面もある中、年間1~3回、実施しているケースが多く見られました。直接交流に関する保護者アンケートでは「とても楽しく貴重な経験ができた。」という感想を多数いただきました。一方で回数増加や段差の問題などの課題や、「もっと自由に子ども同士のコミュニケーションをとれると良い。」や「自分自身を紹介する時間が取れると嬉しい。」など、交流をより良くするための御意見もいただきました。次年度に生かしていきたいと思っております。地域指定校からは以下のような御感想もいただき、副籍交流が両校の子どもたちにとって、とても有意義なものであることを実感しました。

- ◆交流2年目となり、子どもたちも〇〇ちゃんに親しみを感じ、会えることを楽しみにしていました。進んで関わろうとする姿を見られて嬉しく思いました。(新宿区立小学校 担任より)
- ◆〇〇さんの表情がとても和やかだったのが印象的です。〇〇さんとの関わりを見ていて、生徒たちの新たな一面を見ることができました。(新宿区立中学校 担任より)

一年間、様々な御協力をいただき、ありがとうございました。次年度も児童・生徒にとって有意義な交流となるよう、地域指定校と連携しながら進めてまいります。



卒業に寄せての メッセージ



「飛び立とう 未来信じて!!」

小学部・中学部の卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。

小学部6年生は、普段の授業はもちろん、特に集会や運動会などの行事の際には、時にほほえましく、でも小学部最高学年としての活躍を見せてくれました。中学部3年生の皆さんは、特に生徒会活動などで新宿養護学校の代表という雰囲気存在感を發揮していましたね。

4月から新しい活躍の場が広がっています。これまで学習してきたことを大きな糧に、自分の力を信じて様々なことにチャレンジし、さらに楽しく充実した学校生活を送ってください。これからも応援しています!



「卒業に寄せて」

新宿養護学校を巣立ち、新たな場所で高校生活をスタートさせる中学部3年生の皆さんに、心からエールを送ります。

いつも笑顔でみんなに優しく、何事にも前向きな芯の強さ、忘れません。「やりたい」という意欲をもち続けて、これからも新しいことを学んでください。友達や教員と会話を楽しんだコミュニケーションの力で、新しい仲間を作っていくてください。自分の進路を意識して、自分のことを伝える力は、これからも生きていきます。ずっと、大切にしてください。そして、またいつの日か、新宿養護学校に来て「高校生活ってこんなだよ。」と教えてください。

未来に向かって歩み出す力は、みんなの中にしっかりあります。自信をもって行ってらっしゃい!

御卒業、おめでとうございます。



「卒業おめでとうございます!」

卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。訪問学級に3月まで在籍していた小学6年生の児童も前籍校で卒業式を迎えることができました。

卒業を迎えた皆さんの中には、これから始まる新しい生活にワクワクしている人もいれば、ドキドキしている人もいると思います。どちらにも共通していることは、未来に向けて期待をしているということです。今、皆さんが感じているワクワクやドキドキを大切にしてください。きっとその気持ちが新しいことを始めたり、吸収したりするパワーにつながるはずです。

これまで新宿養護学校で蓄えた力を生かして頑張ってください。そして、自分の将来に向けて歩みを進めてください。いつまでも皆さんのことを応援しています。






「御卒業おめでとうございます」

小学部6年生、中学部3年生の皆さん、御卒業おめでとうございます。

新宿養護で過ごした時間は長かったですか？短かったですか？きっと、皆さんがそれぞれのペースで、自分らしく成長を遂げられたことでしょう。そしてその成長は、仲間があつてこそだと思います。いつ、どこにいても、新宿養護で出会った沢山の仲間がいることを忘れないでくださいね。

これからも笑顔を忘れず、新しい環境でも実りある時を過ごせますように。皆さんを応援しています。



「好きなことを楽しめましたか？」

皆さんは好きなことをするために、どんな努力をしましたか？好きなことだけをしていると、段々とつまらなくなります。好きなこと、やりたいことに向かって、自分がやるべきことを頑張ると、好きなことができた時に、もっと好きになったり、楽しさが倍増したりします。

その途中で失敗したとしても、頑張りが続くと成功した時の嬉しさや楽しさは自分へのごほうびとなります。失敗を恐れず、夢に向かって進んでいってください。

御卒業おめでとうございます。



「御卒業おめでとうございます」

御卒業おめでとうございます。

給食の入ったワゴンを見つけると、パッと顔を輝かせて先生に「給食だよ。」と伝える児童・生徒の皆さんの姿をよく見かけました。給食を楽しみにしてくれていたことが分かり、とても嬉しい気持ちになりました。ありがとうございます。

これからも皆さんが食べて、遊んで、学びながら、幸せな時間をたくさん過ごせることを願っています。



「卒業に寄せて」

卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。送迎をしてきて思うことがあります。それは、毎朝バスポイントに来るまでの準備が大変だろうなあ、ということです。朝ご飯、着替え等、準備には時間がかかるでしょうから、保護者の方々の大変さを想像してしまいます。保護者の皆様、中学部の卒業生は9年間、小学部の卒業生は6年間、無事に送り出していただき、ありがとうございました。送迎を通じて、私たちも楽しい時間を過ごし、子どもたちの成長を見ることができました。

卒業生の皆さんの更なる成長を楽しみにしています！



御卒業・御進級
おめでとうございます

